



新春の挨拶

「北嶺・共同舎通信」をご愛読いただきましてありがとうございます。
今年も宜しくお願い致します。

昨年はコロナウイルスが猛威を振るい医療体制の脆弱さもあいまって、国民の生活と健康、そして経済活動に深刻な影響を及ぼしました。

そんな中、弊社グループでは民主団体と連携して学生・生活困窮者の方々へのフードバンク（食料支援活動）への協力、そして相談活動に注力してまいりました。

不動産取引では、札幌市及び周辺都市への地価高騰が進み、不況等での住宅ローン滞納が増える中、売却により住宅ローンが完済できたという声もある反面、土地の高騰により建物面積を減らして住宅予算を下げるといった状況も発生しております。

リフォーム分野でも、コロナ禍での地価高騰・建築価格上昇により住み替え、立て替えではなくリフォームを選ぶ人が増えております。

今年も「助け合いネットワーク」で専門家と連携して頼れる相談相手となり、この厳しい時代を皆さんと一緒に乗り越えていきたいと思っております。

フードバンク支援と生活相談が特徴の一年でした。
今年も頑張ります。



遠隔地の物件の複雑な権利関係を整理し無事売却に

助け合いネットワークに賛同して頂いている税理士さんからの紹介で、遠方に住んでいるAさんの相談にのってほしいとの依頼がありました。

Aさんは、道東にある住宅を売却して、親族がいる札幌に引っ越したいとの意向でした。

Aさんが札幌に来られた折に詳しくお聞きしたところ、Aさんの住宅の一部が隣地に越境して建っており、毎月土地代を払っているとの事でした。売却を開始したものの、住宅を購入しても土地代を毎月払わなくてはならない事から買い手さんがなかなかみつかりませんでした。

その中で、Aさん所有土地建物と隣地（借地）の土地も含めて購入したいとBさんから申し出があり、隣地の方と土地売買の交渉していたところ、隣地の方が高齢のため亡くなられてしまい話がとん挫しかけました。しかし、その後隣地の方の相続人さんと連絡がとれ、土地売買の交渉を行ったところ借地を売却することを承諾いただき、相続手続きを行っていただきました。

そんな中、今度はAさんの体調が悪化し、契約がのびのびとなっておりました。購入希望者Bさんに、そういった状況をお話したところご理解いただき、時間がかかりましたが、無事取引が完了し、売主・買主・隣地所有者の方々に喜んでいただけました。

北 嶺 通 信

建築・リフォームは…

北嶺グループ ㈱共同舎へ

2022年

1・2月

NO.82

北嶺不動産有限公司

札幌市東区北31条東17丁目5番24号

T (011) 783-5667 F (011) 783-5768

E-mail hokurei1985@topaz.ocn.ne.jp

URL <http://hokurei-fudousan.co.jp>

※裏面もご覧ください。